



三宿に大型道路が

計画見直し2,243名の請願を 自民・民主・公明が否決

公明党「反対のための反対」と 住民を敵視

東京都が三宿と池尻の良好な住宅地に幅20m(世田谷通りの1.3倍)延長440mの都市計画26号道路を作る計画に、周辺住民2243名が見直しを求めて都議会に請願署名を提出しました。

請願には、私と生活者ネットが紹介議員になり、6月6日、環境建設委員会で審議されました。委員会室は審議のゆくえを見守る三宿・池尻の方々に傍聴席はいっぱい、私も一緒に傍聴し審議に耳をかけたむけました。

質疑で民主党委員は、「立ち退きの80軒は多くない。道路の歩道で緑はふえる」からと建設促進を主張。公明党委員は、「反対する声は一部、反対のための反対に憤りをもつ。早期に工事を」と住民の声を敵視しました。自民党委員は、「道路の必要性は高い。ただちに推進せよ」と主張しました。



私と一緒に現地を歩いて調査した日本共産党の河野百合恵都議・委員(江戸川区選出)は「周辺地域で道路計画は認められない、との声が多数。請願は採択を」と主張しましたが、自民党、民主党、公明党の多数で否決されてしまいました。

この道路ができると1日に1万2千台の車が住宅地を走り、立ち退きや北沢川緑道が道路で分断されるなど、環境は大きく悪化します。計画反対の声が急速に広がっており、日本共産党は住民のみならずとも計画断念のためにがんばっています。

急がれる30人学級の実施

『勉強がよくわかる、学校が楽しい』と全国で30人学級が進み、未実施は東京都だけです。そのため区内の小学校946学級、中学校292学級では、1クラス26人から30人のクラスが28%にたいして、36人から40人クラスが30%も占め、勉強する場の格差が

生まれています。

教室内の人数が多いために、一人ひとりにまでゆきとどいた教育ができないことは、政治の責任です。私は、学校をたぞね30人学級実施が東京で急がれていることを痛感しました。

